

令和5年度 日野市立日野第一小学校経営重点計画				自己評価シート		令和5年6月公表
★学校の教育目標				○かしこい子 ○やさしい子 ○元気な子		★重点計画の概要 ・いのち…人権尊重の精神を基調とする「すべてのいのちを守り、育む」教育の推進 ・学び…児童自ら課題を見付け、協働して深め合い課題を解決していく「一人一人を大切にした多様な学び」の創造 ・地域…学校、家庭、地域が連携した「地域をステージにした教育活動」の推進 ・特別支援教育…インクルーシブ教育の充実
★目指す学校像（ビジョン）						
【めざす児童】				①問いを大切に、自分たちなりの方法で、自分たちなりの答えにたどりつける子 ②よりよく生きるために、自分を認め、相手を認めることができる子 ③心も体も健康で、やりたいことがあり、それができる状態の子		
【めざす学校像】				①認め合い、学び合い、共に育つ学校 ②笑顔と元気、幸せがあふれる学校 ③安心・安全で、整然とした美しい学校 ④対話し、協働していく信頼される学校		
【めざす教師像】				①子供一人一人を大切にする、感性豊かな教職員 ②教育公務員としての自覚をもち、保護者や地域の方に信頼され、連携・協力し合える教職員 ③指導力の向上を目指し、学び続ける教職員 ④心と体の健康を保つことのできる教職員		
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策			
				取組指標	成果指標	
いのち	人権尊重の精神を基調とし、「自分の命は自分で守る」ことのできる児童の育成。	○自分を大切にし、相手も大切にできる感性を育む豊かな心を育成する。 ○子供の安全・安心を守る生活指導の充実を図るために、意図的、組織的にサポート体制を構築する。	・「考え、議論する道徳教育」の実践を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・集団生活上のトラブルを解決する体験を重視し、主体的に解決していく経験の中から自己理解、他者理解を深めさせる。 ・ESD教育に取り組む中で、環境や生命尊重への関心、協力、感性、実行力を高める取組を実施する。	4 「全ての教員」が計画に基づき、豊かな心の育成に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。	
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。	
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。	
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。	
			・生活科・総合的な学習の時間、体育（保健）を通して、交通安全、防災教育、衛生教育など、自他のいのちを尊重する取組を実施する。 ・第一小学校いじめ防止基本方針に基づき、校内いじめ対策委員会を中心に、いじめの未然防止、早期発見・対応の取組を徹底する。 ・校内委員会や特別支援コーディネーター・スクールカウンセラー、ソーシャルスクールワーカー、保護者等と連携し組織を活用して、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決を図る。	4 「全ての教員」が計画に基づき、いじめや不登校への対策に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。	
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。	
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。	
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。	
学び	児童自ら課題を見付け、協働して学びを深め、課題を解決していく「一人一人を大切にした多様な学び」を創造する。	○個に応じた指導や多様な学び方を設定した授業で、一人一人の学びの充実させる。 ○主体的に運動する習慣を身に付けさせ生涯スポーツの基盤を築くとともに、食育を通して健やかな体づくりを実現する。	・学力調査等の分析を基に、習熟度別指導やグループ学習・個別学習等の学習形態を工夫し基礎的基本的学力の定着を図る。 ・身に付けさせる力を明確にした授業の工夫を行い授業改善を行う。 ・タブレット等ICT機器の効果的な活用を通して、一人一人が理解できる授業づくりを推進するとともに、各教科等において「ミライシード」を活用し、基本的学習事項の定着と、応用力を養う。	4 「全ての教員」が計画に基づき、一人一人の学びの充実の実現に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。	
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。	
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。	
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。	
			・実技研修等による体育授業の改善、体力テストをもとにした体力向上の取組等を通して、健康な生活を送ることのできる力を育む。 ・栄養士と協働し、全学年で食育及び栄養に関する授業を行い、生活習慣確立の実践を推進する。	4 「全ての教員」が計画に基づき、健やかな体づくりの実現に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。	
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。	
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。	
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。	
地域	学校、家庭、地域が連携した「地域をステージにした教育活動」を推進する。	○地域の教育的資源を学校の教育活動に生かすなど、自ら地域や社会と関わろうとする態度を育成する。 ○「つながり」を大切にした幼保小中との連携教育を充実させる。	・学校支援コーディネーターと連携し、地域の施設や人材を活用した授業を全学年で実施する。 ・教育方針や教育活動、150周年記念の行事関連等をホームページ、Home&School等で発信する。	4 「全ての教員」が計画に基づき、自ら地域や社会と関わろうとする態度の育成に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。	
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。	
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。	
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。	
			・地域の幼稚園・保育園との交流活動や情報交換を行ったり、小学校スタートカリキュラムを実施したりする。 ・合同引取訓練、中学出前授業、小中交流会、入学予定児童の引継ぎ等、9年間の学びの連続性を意識した滑らかな接続を図る。	4 「全ての教員」が計画に基づき、幼保小中との連携教育の充実に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。	
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。	
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。	
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。	
特別支援教育	インクルーシブ教育の概念に基づいた特別支援教育の推進	○全ての児童に分かる喜びを体感させる。	・日野スタンダードを基盤に、ユニバーサルデザインの考え方による授業を実践する。 ・さくら組やステップ教室といった校内資源の活用やエール等の外部機関との連携を図る。 ・さくら組と通常学級の交流・共同学習の活性を図る。 ・校内支援委員会を核として児童のニーズを共有し「校内フリースクール」等、個に応じた支援により問題行動の抑制を図る。 ・お便りやホームページ、Home&School等で特別支援教育の様子や考え方を保護者・地域へ発信する。	4 「全ての教員」が計画に基づき、全ての児童が分かる喜びを体感できる授業の実践に取り組んだ。	4 児童・保護者アンケートで90%以上の肯定的な評価を得た。	
				3 「80%の教員」が取り組んだ。	3 80%以上の肯定的な評価を得た。	
				2 「70%の教員」が取り組んだ。	2 70%以上の肯定的な評価を得た。	
				1 取り組んだ教員が「70%未満」。	1 肯定的な評価は70%未満であった。	

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。